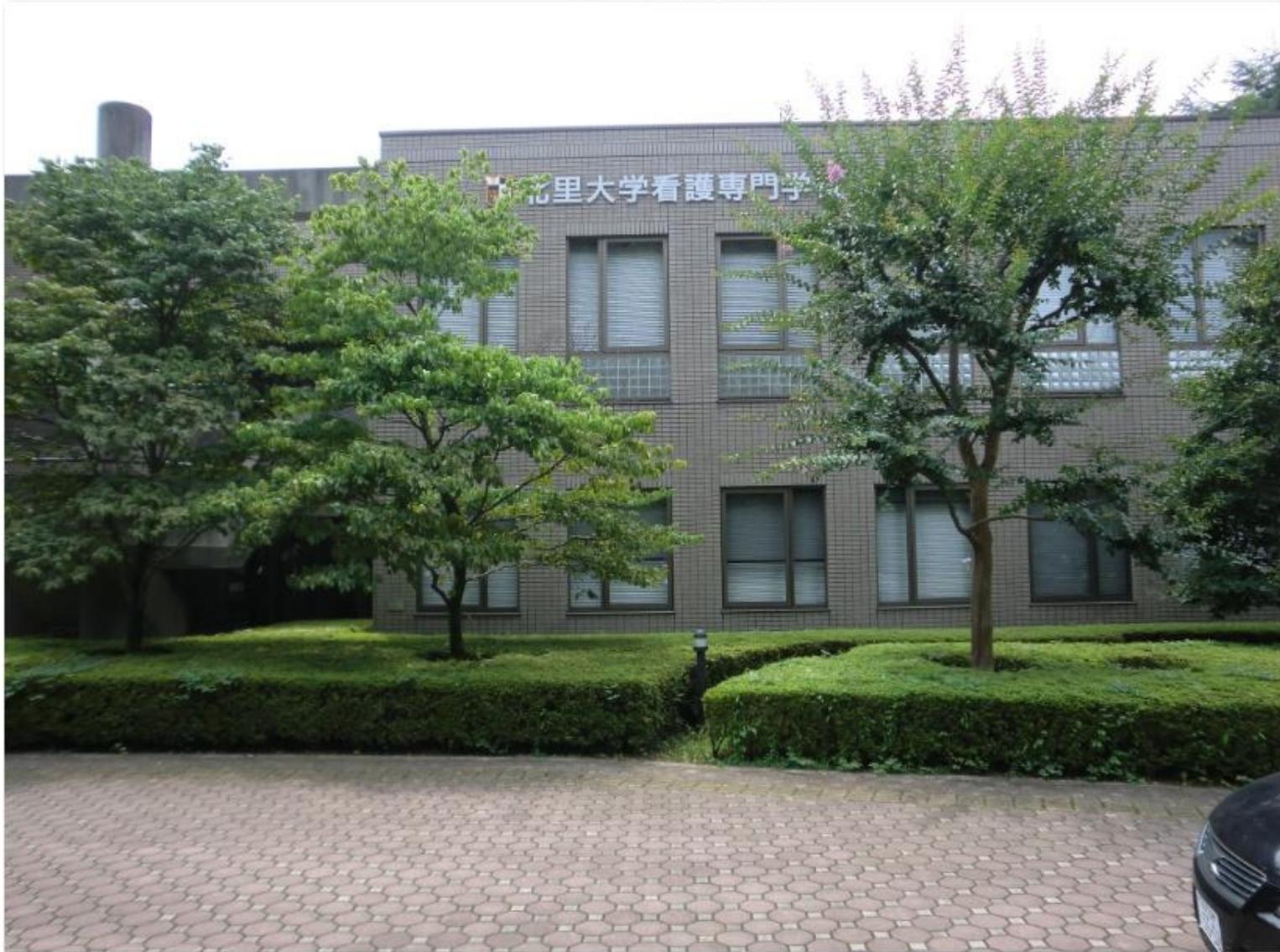


# 八重塚2号墳(北本市)

ここは北里大学看護専門学校前



正面が八重塚2号墳/方墳/6世紀末～7世紀初頭の築造



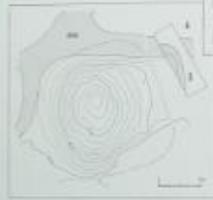
県選定重要遺跡

## 八重塚古墳群

選定年月日 昭和四十四年十月一日

八重塚古墳群は、南北に小さな谷が入り、西に向けて突き出た台地上に位置しています。標高は約二六メートルで、北側の谷との高低差が九メートルほどの高台となっています。この付近は古くから八重塚山と呼ばれ、地域の人々によって古墳の群集する場所として認識されてきました。これまでに四基の古墳が確認されていますが、現在でも墳丘が残されているのはこの二号墳だけです。

一号墳はこの二号墳から西へ五〇メートルの地点にあったといわれています。昭和三五年に浦和第一女子高等学校によって調査が行われ、凝灰岩の切石を積み上げた横穴式石室から、刀子が一点出土しています。また二号墳は東西径約三〇メートル、南北径約二二メートル、墳丘



の高さは一・七メートルほどの規模で、東側の裾裾が少し崩れています。かつては円墳と考えられてきましたが、平成四年に北本市遺跡調査会によって東辺の周溝が調査された結果、六世紀末から七世紀初頭の方墳である可能性が指摘されています。

現在、この二号墳は社団法人北里研究所の協力により現状保存されています。

埼玉県教育委員会  
北本市教育委員会  
社団法人 北里研究所

平成十年三月

県選定重要遺跡

# 八重塚古墳群

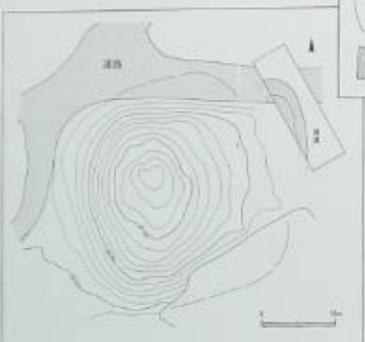
選定年月日 昭和四十四年十月一日

八重塚古墳群は、南北に小さな谷が入り、西に向けて突き出た台地上に位置しています。標高は約二六メートルで、北側の谷との高低差が九メートルほどの高台となっています。この付近は古くから八重塚山と呼ばれ、地域の人々によって古墳の群集する場所として認識されてきました。これまでに四基の古墳が確認されていますが、現在でも墳丘が残されているのはこの二号墳だけです。

一号墳はこの二号墳から西へ五〇メートルの地点にあったといわれています。昭和三五年に浦和第一女子高等学校によって調査が行われ、凝灰岩の切石を積み上げた横穴式石室から、刀子が一点出土しています。また二号墳は東西径約三〇メートル、南北径約二二メートル、墳丘



1号墳石室実測図



2号墳実測図

の高さは一・七メートルほどの規模で、東側の裾部が少し崩れています。かつては円墳と考えられてきましたが、平成四年に北本市遺跡調査会によって東辺の周溝が調査された結果、六世紀末から七世紀初頭の方墳である可能性が指摘されています。

現在、この二号墳は社団法人北里研究所の協力により現状保存されています。

埼玉県教育委員会  
北本市教育委員会  
社団法人 北里研究所

平成十年三月

南側から見る



墳丘に登ってみる







時計回りに廻って見る



西側から見る



北西側から見る



北側から見る



アップで見る



参考ホームページ

<http://www.asahi-net.or.jp/~fx3i-aid/kofun/saitama/16 ktmt/vaezuka.html>

<http://kofunnomori.web.fc2.com/saitama/kitamoto/vae.htm>

[http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/kitamoto\\_yaeduka/](http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/kitamoto_yaeduka/)

[http://saitamano.blogspot.jp/2013/05/blog-post\\_8036.html](http://saitamano.blogspot.jp/2013/05/blog-post_8036.html)

